記者発表資料

令和５年６月２６日
東北土木技術人材育成協議会

令和５年度 官民共同 若手技術者育成
～基礎技術講習会（土木）開催～

社会資本整備に関連する構成機関が相互に連携・協力し、持続的に担い手を育成することを目的として、今年度も基礎技術講習会を開催します。

建設産業の専門分野は多岐にわたり、施工・監督・検査など幅広い知識と i-Construction をはじめ**新たな技術に関する多様な知識が必要**であり、**各機関では若手技術者の育成に向けた専門知識の習得のための取組みをそれぞれ実施**してきました。

しかし、**最新技術や専門的技術の習得には、中小の事業者などにおける充分な教育機会の確保、他分野技術の習得など各機関の取り組みには課題**も生じています。

将来にわたり高品質な社会資本形成のための**担い手育成を目的に、関係機関の連携と協力**のもと、土工や構造物設計、UAV 操作や ICT 活用などの技術を習得するため、官民共同の講習会を平成29年度より実施しています。
なお、DXの推進を図ることを目的とし、今年度からは新しくインフラDX講習会も行っています。

令和5年度 基礎技術講習会（土木）
土工／アスファルト舗装／コンクリート／構造物設計　※各4コース
第1回　令和　5年　7月　3日（月）～　7月　7日（金）
第2回　令和　5年　9月　4日（月）～　9月　8日（金）
第3回　令和　5年11月　6日（月）～11月10日（金）

■ 基礎技術講習会（土木）　第1回

日時　：　令和5年7月3日（月）13：20～7日（金）12：00
※各4コースとも上記の順に1泊2日で実施します。
（例：土工は3・4日、構造物設計は6・7日に実施）

場所　：　東北地方整備局　東北技術事務所
（講義）　東北インフラDX人材育成センター
（実習）　品質試験棟
住所　宮城県多賀城市桜木三丁目6－1

※ICT・UAV、遠隔操作式バックホウ講習会については、今後改めてご案内いたします。
※インフラDX講習会については、6月14日に記者発表しております。

〔　発表記者会　：　宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会　〕

問　い　合　わ　せ　先

東北土木技術人材育成協議会事務局

国土交通省　東北地方整備局　東北技術事務所

電話　022－365－8211（代表）

総括技術情報管理官　佐藤　禎夫（内線：301）
技術情報管理官　河合　雅史（内線：303）

（参考）

■「東北土木技術人材育成協議会」とは

良質な社会資本の形成に資するため、社会資本整備に関連する構成機関が相互に連携・協力し、持続的に担い手を育成することを目的として、平成29年3月に東北地方整備局、建設、測量・コンサルタント、建設機械業界の6団体による「東北土木技術人材育成協議会」を発足しました。

その後、地方公共団体などを含め、現在は17団体までに組織が拡充されています。

＜ 参加団体 ＞

国土交通省東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、(一社)日本建設業連合会東北支部、東北建設業協会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)日本建設機械施工協会東北支部、(一社)東北地質調査業協会、(一社)日本道路建設業協会東北支部、(一社)東北建設マネジメント技術協会、(一社)東北地域づくり協会

＜ 設立趣旨＞

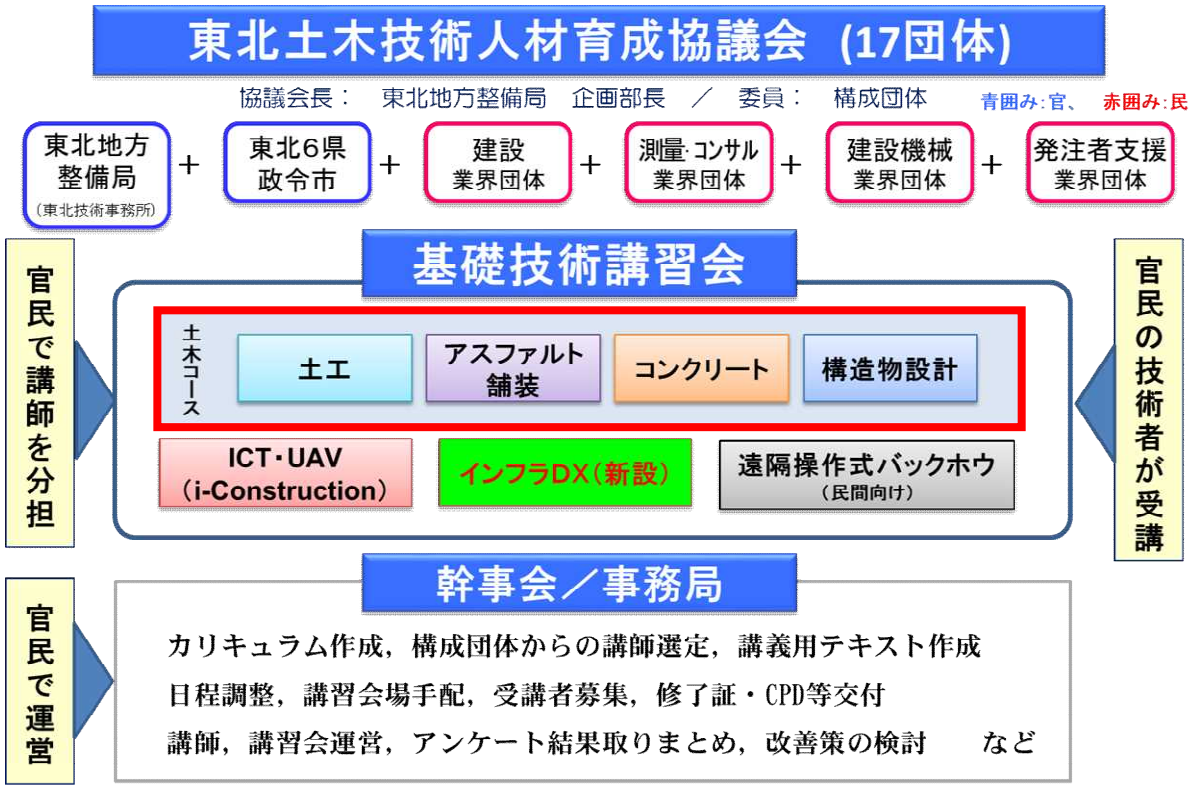
◇社会資本は生活や経済活動を行う上で重要な役割を担い、長期にわたり利用される高品質・高耐久とすることが求められる。

◇良好な社会資本の整備・維持管理のための専門分野は多岐にわたるため、施工・監督・検査などには幅広い知識が必要。

◇さらに「i-Constrution」 をはじめとする新たな技術に関する多様な知識も求められる。

◇将来を担う若手技術者に対しては、早い段階で知識と技術力の養成に資する講習を行う必要がある。

◇各団体が協力・連携をすることで、より総合的な知識と技術力の教授が可能となる。



■ 令和4年度 基礎技術講習会（土木）開催状況



◇過去2年間は、新型コロナウィルス感染症対策のため定員の縮小または開催中止もあったが、4年度はWEB形式を併用し受講機会を確保（デメリットは実習の一部ができない）。

◇土工・アスファルト舗装・コンクリート・構造物設計の4コースを1講習につき1泊2日で実施。

◇年3回実施し、受講者数は延べ323名（官139名、民184名）。